信濃毎日新聞 号外

発行所 信濃毎日新聞社
長野本社 〒380-8546 長野市南県町657番地
電話（026）受付236-3000 編集236-3111 販売236-3310 広告236-3333
松本本社 〒390-8585 松本市中央2丁目20番2号
電話（0263）代表32-1200 報道32-2830 販売32-2850 広告32-2860

タリバン 政権掌握

アフガン 民主政権瓦解

15日、カブールのアフガニスタン大統領府を占拠した反政府武装勢力タリバンの戦闘員ら（ＡＰ＝共同）

【カブール共同】アフガニスタンのガニ大統領は15日、駐留米軍の撤退完了を前に全土で猛攻を続けた反政府武装勢力タリバンが勝利したとする声明を発表、タリバンによる政権掌握を認めた。これに先立ち国外に脱出した。民主政権は瓦解（がかい）し、今後タリバン主導の国家づくりが進む。

イスラム原理主義の神学生らが結成したタリバンが同国を支配するのは２００１年の米中枢同時テロ後の米英軍による攻撃で旧タリバン政権が崩壊して以来約20年ぶり。タリバンは旧政権時代、イスラム教の厳格な適用を掲げ、女性の権利をないがしろにするなど恐怖政治を敷いた。再び人権が抑圧されかねないとの懸念が広がっている。

バイデン米政権は駐留米軍の撤退を４月下旬に始め、８月末に完了させる計画を堅持している。力の空白が生じ、タリバンの大攻勢を招いたとの批判が高まりそうだ。

タリバンは今月６日に南西部ニムルズ州の州都を掌握。各州都を次々と陥落させ、15日に首都カブールに進攻した。

米欧や中国、パキスタン、インドなどは「武力を通じて樹立した政府は認めない」との考えで一致しており、国際社会の対応が注目される。

タリバン　イスラム原理主義の神学生らが1994年にアフガニスタン南部で結成した武装集団。隣国パキスタンの支援を受け、96年に政権を樹立。2001年の米中枢同時テロ後、国際テロ組織アルカイダの指導者ビンラディン容疑者の引き渡しを拒み、米英軍の攻撃を受けて政権は崩壊した。パキスタンとの国境地域に逃れて勢力を盛り返し、首都カブールなどアフガン国内でテロを繰り返してきた。今年４月下旬の米軍の撤退開始後、力の空白を突いて猛攻に出た。（共同）

詳細は本紙で